



保存版 47都道府県 181施設

あなたの地元の

「スーパー開業医」

心臓病からヘルニア、睡眠障害まで

みやぎき外科・ヘルニアクリニックの宮崎医師 (左)

みやぎき外科・ヘルニアクリニック(札幌市)院長・宮崎恭介医師も付き合っていないと話す。開業は〇三年。JR札幌駅に建設中のオフィスビルに医療モールができると聞き、運営会社に直談判して入居した。

「冬でもアクセスしやすい立地条件が私の希望にぴったりだったんです。外科医

十一年目、三十六歳の開業は無謀といろんな人に言われました。しかし、その

四年前から開業をめざして準備してきたので、自信がありました」

宮崎医師が理想としたのが、米国にある有名な日帰り手術クリニックだった。

「ザ・ヘルニアセンター」と呼ばれるだけあって大きな施設だと思ったら、ビルの一室に二つの手術室と回復室があるだけ。そこで医師二人が、年間四百例の手術をしていた。朝から二例の手術をして、患者は午後二時には帰宅する。

「自分もこんな外科クリニックを日本でやりたいと思ったんです。最初の三年は自転車操業で、貯金を切り崩す生活でした。しかし、

徐々に患者数が増え、昨年の手術は約五百例、開業以来通算で四千例を超えました。経験を積むほど様々な

ケースに対応できる力がつき、〇九年以降、出血や再発などの合併症は一例もありません」(宮崎医師)

同じヘルニアの手術でも一例一例違い、飽きることはない

と宮崎医師は話す。その努力の積み重ねこそが、広告の何倍もの宣伝効果を生む原動力だろう。

みやぎき外科・ヘルニアクリニック(札幌市)院長・宮崎恭介医師も付き合っていないと話す。開業は〇三年。JR札幌駅に建設中のオフィスビルに医療モールができると聞き、運営会社に直談判して入居した。

「冬でもアクセスしやすい立地条件が私の希望にぴったりだったんです。外科医

十一年目、三十六歳の開業は無謀といろんな人に言われました。しかし、その

四年前から開業をめざして準備してきたので、自信がありました」

宮崎医師が理想としたのが、米国にある有名な日帰り手術クリニックだった。

「ザ・ヘルニアセンター」と呼ばれるだけあって大きな施設だと思ったら、ビルの一室に二つの手術室と回復室があるだけ。そこで医師二人が、年間四百例の手術をしていた。朝から二例の手術をして、患者は午後二時には帰宅する。

「自分もこんな外科クリニックを日本でやりたいと思ったんです。最初の三年は自転車操業で、貯金を切り崩す生活でした。しかし、

徐々に患者数が増え、昨年の手術は約五百例、開業以来通算で四千例を超えました。経験を積むほど様々な

ケースに対応できる力がつき、〇九年以降、出血や再発などの合併症は一例もありません」(宮崎医師)

同じヘルニアの手術でも一例一例違い、飽きることはない

と宮崎医師は話す。その努力の積み重ねこそが、広告の何倍もの宣伝効果を生む原動力だろう。